

8月定例記者会見要旨

今年の8月は、中旬過ぎまで雨など日照の少ない不順な天候が続き、気温も連日平年を下回るなど、長雨の季節のような異例の天候が続きました。これは、夏休みを楽しみにしていた子どもたちにとって、残念な天候不順になったに違いありません。海水浴など、屋外レジャー客の減少、農作物の高騰などが、消費全体に与える影響も心配されます。

8月下旬にはいり、関東でも晴れ間と残暑が戻り、ようやく夏らしさを感じられるようになったところで夏休みも終わりを迎えます。防災の日の9月1日は、今年は台風の特異日と言われる「二百十日」でもあり、早くも台風被害や秋の長雨を憂える季節となりました。

今年は特に、30数名の犠牲者を含む、甚大な被害をもたらした「九州北部豪雨」をはじめ、各地で予測の難しい局地的な豪雨が相次いでいます。気象災害が「新しいステージに入った」と気象庁が発表している通り。一般に公表される予想天気図等から市町村が状況を判断し、適時・適切に避難勧告や避難指示を出すのは極めて難しくなっております。

こうしたことから、本市では今年8月から気象情報会社と委託契約を結び、「市の事業としては全国初」の気象予報士の派遣を受けておりますが、豪雨等で災害対策本部が設置された際には、同気象予報士が刻々と移り変わる気象情報を読み解きながら、避難勧告発令などに関するアドバイスを行うこととなりますので、予測し難い局地的な大雨が頻発している状況下では、特にその知見が本市の防災・減災に生かされるものと考えています。

本市では今年3月に策定した「第2次ふるさと龍ヶ崎プラン」の重点目標のひとつに「防災・減災日本一」を掲げています。これからの台風シーズンは特に、市民の皆様が安心してくださる「防災・減災日本一のまち」を目指し、気象予報士派遣等の新たな取り組みを含め、実効性のある防災・減災対策を推進してまいります。

また、一昨日は、その市民の安心を脅かすような、事案が発生しました。皆様ご承知の通り、北朝鮮が8月29日午前5時58分頃、北朝鮮西岸のスナンから弾道ミサイルを発射し、午前6時12分頃、襟裳岬の東約1180 Kmの太平洋（EEZ外）に落下しました（防衛省）。

これに伴い、国は6時2分にJアラートにより弾道ミサイル発射、6時14分に弾道ミサイル上空通過の情報が防災行政無線による放送され、本県を含む12道県で避難を呼びかけました。

当市おきましては、先月29日の弾道ミサイル避難訓練の訓練成果を反映し、6時10分に対策本部を立ち上げ、県や警察、消防、自衛隊と連絡を取り合い、また、市民からの問い合わせ等に対応しました。大きな混乱もなく迅速に情報収集し組織的な対応ができたのもその成果の1つではないかと考えています。

しかしながら、情報伝達のあり方や避難場所のあり方等について、課題も浮き彫りになり、今後、国・県と連携しながら検討改善していきたいと思えます。

話は変わってスポーツのうれしい話題についてです。本市城南中学校出身で現在国士舘大学4年生の陸上選手・斉藤真理菜さんが、大学生のオリンピックといわれる「第29回ユニバーシアード競技大会」の女子やり投げで、見事銀メダルを獲得しました。斉藤さんは、8月上旬にロンドンで開催された世界陸上にも招待選手として出場しており、今や日本を代表する陸上選手です。現在21歳で、今後も成長が期待できる選手ですので、これからも国際大会などで成績を残して、ぜひ、2020年の東京オリンピックで活躍してほしいと思っております。

また、今回のユニバーシアード大会では、サッカー男子が3大会ぶり6度目の優勝を果たしておりますが、このメンバーとして流通経済大学に所属す

る川澄和弘(かわすみかずひろ)コーチを初め、同大学3年生の小池裕太(こいけゆうた)選手、4年生の守田英正(もりたひでまさ)選手やジャーメイン良(りょう)選手らが名を連ねております。今回の優勝に関して、流通経済大学サッカー部が果たした役割は、大変大きかったのではないかと考えております。

それでは、本日の情報提供を始めます。

初めの情報は、ただ今申し上げました気象予報士・「酒井重典(さかいしげのり)」氏の防災授業に関する情報でございます。

先ほどお話ししましたように、酒井気象予報士につきましては、災害時等には災害対策本部で、市が避難情報などを出す際のアドバイスをしていただくわけですが、平常時には職員向けの勉強会の講師のほか、市民への防災意識を高める役割を担っていただきたいと考えております。

今回、その平常時の活動の一環として、小学校高学年を対象とした「防災の授業」を行います。「空をながめて天気の変化を知ろう」という演題で、今年度は9月7日の駒馬台小学校での授業を皮切りに、八原小学校、大宮小学校、長山小学校で開催する予定となっております。

続きまして「市から式秀部屋への差入れ」についての情報です。

本市では、龍ヶ崎市内に部屋を構える式秀部屋と、龍ヶ崎市出身の稀勢ノ里を応援する大相撲応援ツアーを毎年開催するとともに、平成24年度から年2回(1月場所前と9月場所前に)、本市のふるさと大使でもある式守秀五郎氏が親方を務める式秀部屋への地元食材の差し入れを行っています。

今回は、式秀部屋所属力士の皆さんに、収穫したばかりの地元産新米等を食べて力をつけてもらい、大相撲9月場所での健闘を願って差し入れするもので、9月4日、月曜日に式秀部屋を訪問し、市内横田農場の龍ヶ崎産新米60kg、国産鶏モモ肉、国産豚ロース肉の3品を差し入れする予定です。

(合計5万円相当分)。これら地元の新米などで力をつけていただき、是非とも9月場所では大きな活躍を見せてほしいと願っております。

続きまして、「新米フェア」についての情報でございます。

市では地元の安心・安全な新鮮野菜を市民の方に提供するため、市内の農家に呼びかけて、毎月第3日曜日に、にぎわい広場で「日曜朝市やさい村」を開催しています。

やさい村では、地元の新鮮な野菜やお米に加え、卵やお花などを販売していますが、第113回目を迎える9月のやさい村では、市内の農家が丹精込めて栽培した新米コシヒカリを来場者に無料配布する「新米フェア」を開催します。ぜひ、多くの方にお越しいただき、この機会に龍ヶ崎自慢の新米をご賞味いただきたいと思いますと考えております。

次も「新米」に関連する話題でございますが、「秋の全国交通安全運動高校生街頭キャンペーン」についての情報でございます。

9月21日から30日まで、全国で「秋の全国交通安全運動」が実施されます。本市では毎年この時期に合わせて、啓発グッズを配布しながら交通安全を呼びかける「街頭キャンペーン」を実施してまいりましたが、今回は龍ヶ崎第二高等学校の生徒さんにご協力をいただいて、キャンペーンを実施いたします。

日時は9月28日の木曜日、午後4時から龍ヶ崎警察署前交差点で実施いたします。ドライバーの皆様には、「新米ドライバーの気持ちになって安全運転を心がけてほしい」という思いで、旬を迎えた龍ヶ崎産の新米を、啓発チラシと合わせて配布する予定です。

このほか、9月21日には、川原代小学校の児童の皆さんにご協力いただいて同様の街頭キャンペーンを実施し、9月18日の敬老の日には、文化会館で開催される敬老会に合わせて、夜間の交通事故防止に効果的な反射タス

キを参加者の皆様に配布する予定です。

続きまして、健幸マイレージに関する情報でございます。本市では本年1月2月1日から、市民の健康増進を図るため、仮称『タッポくん健幸マイレージ』を開始します。

これは、ウォーキングと健診受診を基本プログラムとしたポイント（インセンティブ）制度で、スマートフォンのウォーキングアプリや歩数計を利用してウォーキングの歩数を計測して登録すると、歩数に応じたポイントが付与されるほか、生活習慣病検診、特定検診、高齢者検診を受診するとポイントが付与されます。

集めたポイントは、湯ったり館入館券やまいりゅうポイントカードなどの商品券と交換できるほか、市内小中学校PTAや地域コミュニティなどにも寄付することができます。なお、ポイント交換は平成30年度からを予定しております。

本市としましては、このプログラムにより、自分の身体への健康改善に関心を持つ人を増やし、生活習慣病の発症と重症化の予防を図っていきたいと考えております。

情報提供は以上でございますが、詳細はこのあと担当から説明させていただきます。